

国道220号古江^{ふるえ}バイパスが 令和7年度に全線開通します

○国道220号古江^{ふるえ}バイパスは、円滑な走行性の確保、交通安全性の向上、急こう配、急カーブの古江坂^{ふるえざか}の回避等を目的とする、延長7.5km、2車線のバイパス事業です。

○これまでに、鹿屋市古里町^{かのや ふるさとちょう}交差点からまさかり交差点間の延長5.2kmが開通しています。

○今般、鹿屋市一里山^{かのや いちりやま}交差点～鹿屋市古里町^{かのや ふるさとちょう}交差点間（延長2.3km）における地盤改良工事が完了し、残る工事工程等を精査した結果、令和7年度に全線開通の見通しとなりましたので、お知らせいたします。

○引き続き、一日も早い開通に向け、工事を推進してまいります。

○国道220号古江^{ふるえ}バイパスの整備による主な効果

- ① 交通混雑を緩和し、円滑な道路ネットワークを構築
- ② 災害リスクの回避による信頼性の高い、安心・安全な道路の確保

■問い合わせ先：

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

技術副所長（道路担当）

ぬまた ひであき
沼田 英昭

工務第二課長

いなづみ
稲積 みのり

TEL：0994-65-2541（代表）

URL：<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>

バイパス整備により円滑・安全な道路ネットワークを構築

交通混雑を緩和し、円滑な道路ネットワークを構築

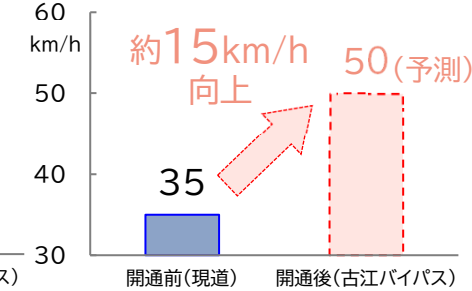
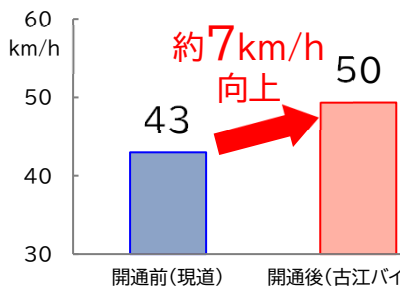
- 平成20年と平成23年の一部開通により、交通の難所であった古江坂の線形不良9箇所を解消し、走行性が向上しています。
- 今回、鹿屋市一里山交差点から鹿屋市古里町交差点(主要渋滞箇所)が開通することで、線形不良の解消、信号交差点の減少により、安全性・走行性の向上、交通の円滑化が期待されます。



▲古江坂での速度低下の状況

	開通前	開通後
線形不良箇所*	9箇所	0箇所
信号交差点	4箇所	5箇所

	開通前	開通後
線形不良箇所*	2箇所	0箇所
信号交差点	4箇所	1箇所



▲線形不良箇所と信号交差点数および旅行速度

※設計速度60km/hの最小曲線半径150m未満、縦断勾配5%以上の箇所

資料 開通前: H17センサス

資料 開通前: ETC2.0 (R5.1-R5.12平日7時台)

(平日、混雑時平均旅行速度)

開通後: 予測値

開通後: ETC2.0 (R5.1-R5.12平日7時台)

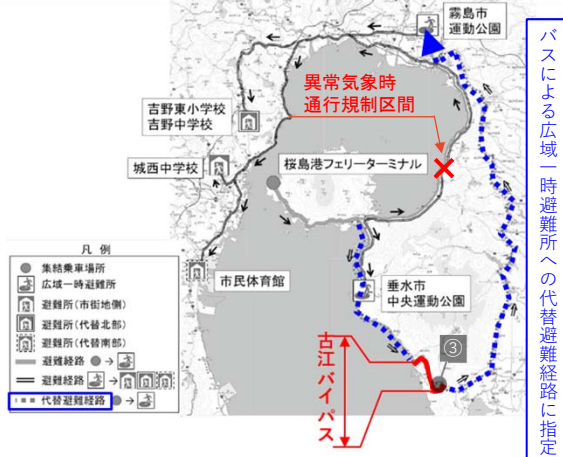
(開通済区間と同等の速度を想定)



▲事業中区間の交通状況

災害リスクの回避による信頼性の高い、安心・安全な道路の確保

- 国道220号は桜島噴火時の代替避難道路として指定されておりますが、鹿屋市一里山交差点から鹿屋市古里町交差点間では、過去に路面冠水により通行止めが発生しております。
- 古江バイパスの整備により、代替路が確保され、信頼性の高い、安心・安全な道路ネットワークを構築します。



▲H27.9.6 冠水状況

▲桜島島内からの避難計画(桜島フェリーターミナルの場合)